

答 申

本会議は、市民が健全な食生活を送ることを目指して策定した、第3次新潟市食育推進計画が策定後5年を経過することを踏まえ、これまでの取組を総括し、取組の成果と課題の整理を行うとともに、食育が市民の皆様に理解され、より一層関心が高まり、実践へと結びつくことを目指して、第4次新潟市食育推進計画の策定に向けて慎重な審議を行ってきました。

第3次計画では、若い世代の食への関心低下や朝食の欠食などの課題が残ったため、引き続き対応していく必要があります。また、第4次計画では、「新たな日常」への対応やSDGsへの貢献を取り入れており、その内容は概ね適切なものであると評価できることから、最終的に別添のとおり食育推進計画の案を取りまとめました。

社会経済構造等が大きく変化していく中で、ライフスタイルや価値観・ニーズの高度化・多様化により、食生活やこれを取り巻く環境も大きく変化し、毎日の「食」の大切さに対する意識が希薄になり、様々な食の問題が顕在化しています。また、近年は新型コロナウイルス感染症の影響も考えていかなければいけません。

これらの問題を解決していくためには、今後も引き続き施策を展開していく中で、行政はもとより、市民、教育関係者、保健・医療関係者、農林漁業者、食品関連事業者等が一体となって、食育を市民運動として推進していくことが必要であり、一層の事業の拡充が図られるよう期待します。

以上のことを踏まえ、この案に基づき、速やかに第4次新潟市食育推進計画を策定し、施策の実施にあたっては、あらゆる立場の市民に十分留意しながら、着実な遂行を努められるよう要望します。

令和4年3月28日

新潟市食育推進会議 会長 村山 伸子